

# 学級活動（２） 学習指導略案

2年1組 24名 指導者 濱田 博史  
基永 恵

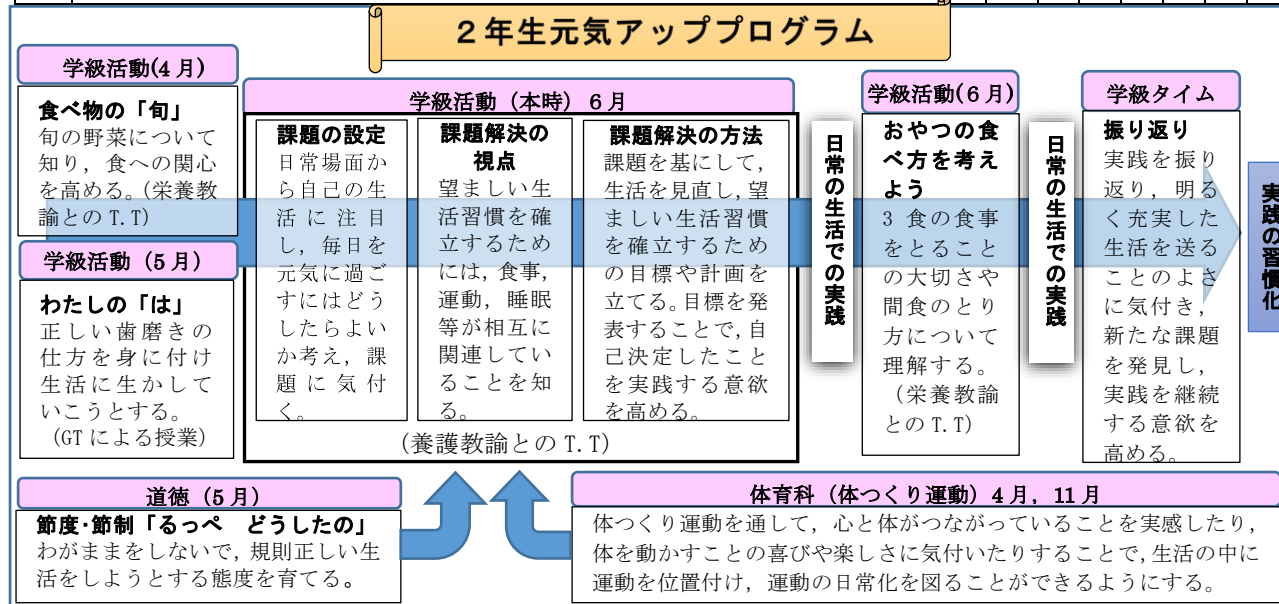
本授業は、以下の検証を行うものである。

他教科等との関連を図ったカリキュラム（元気アッププログラム）を作成し、継続した指導、実践、振り返りを行うことは、子供が主体的に課題を解決し、生活につなげる力を育成する手立てとして有効であったか。

1 題材 「はやね はやおき ごはんで げん気アップ」

2 指導計画 ○重点化する「全ての学習の基盤となる資質・能力」

	主な学習活動【評価規準】	時間	基盤となる資質・能力					
			言	情	問	実	協	振
体育	○ 「体づくり運動」を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	6	○	○	○	○	○	○
道徳	○ 資料を読み、わがままをしないことや規則正しい生活について話し合う。	1	○		○			
事前	○ 自分の生活習慣について考える。	学級タイム			○			○
本時	1 食事、睡眠、運動等の生活習慣を整えることの重要性を理解する。（養護教諭とのT・T） 2 課題解決に向けて、今後取り組んでいくことを自己決定する。	1				○	○	
学活	○ 間食のとり方や、三食きちんと食べることの大切さを理解する。（栄養教諭とのT・T）	1		○				
事後	○ 実践したことを振り返り、新たな目標をもつ。	学級タイム						○



## 3 本時

### (1) 目標

食事や睡眠、運動の重要性や必要性を理解し、生活習慣を整えて毎日生活をしようという意識を高めるようにする。

### (2) 評価規準

食事や睡眠、運動の重要性について理解させ、望ましい生活習慣を整えていくために取り組むことを自己決定している。 【思考・判断・表現】

### (3) 指導に当たって

#### ア 主体的な学びの視点

「つかむ」過程において、「元気アッププログラム」として他教科等で学習したことから、本時の学習と関連させることで、子供たちが生活習慣について、より身近な課題を主体的に設定し、解決方法を自己決定することができるようにする。

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	5	<p>1 これまでの自分たちの生活習慣について想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳の学習で早起きは大事だと学習したのに、なかなかできていないな。</li> <li>・ ぼくはときどき朝ごはんを食べないな。</li> <li>・ 寝る時間が遅い日がある。</li> </ul> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>はやね、はやおき、ごはんをふりかえってげん気アップけいかくを立てよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前に行った道徳の学習やアンケートを基に、自分の普段の生活を想起することができるようにする。</li> <li>○ アンケート結果から、自分の生活を改善する必要性に気付き、めあてにつなげることができるようにする。</li> <li>○ めあてを確認し、生活習慣を改善するために取り組む内容を自己決定するという見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>
調べる	30	<p>3 早寝早起きや食事の必要性とその理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝ご飯を食べないと元気が出ないよ。</li> <li>・ 起きるのが遅いと朝ご飯が食べられない。</li> <li>・ 好き嫌いをすると栄養が足りなくなるんじゃないかな。</li> </ul> <p>4 食事や生活習慣の大切さについて養護教諭から話を聞く。</p> <p>5 課題を解決する方法を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝ご飯をしっかり食べるには、早く起きないといけないな。</li> <li>・ 早起きするためには早く寝ないといけないな。</li> <li>・ 夕食を食べるために運動してお腹がすくようにしよう。</li> </ul> <p>6 自分が取り組みたい内容について自己決定し、グループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「早ね計画」を成功させるためにテレビの時間を決めて9時には布団に入ろう。</li> <li>・ 「残食ゼロ計画」としておやつを少し減らすようにしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えを交流し、食事、睡眠、運動等の望ましい生活習慣が健康的な生活を送るために大切であることに気付くことができるようにする。</li> <li>○ 食事や睡眠、運動の重要性を養護教諭が大型テレビで画像等を用いながら説明する。説明内容を視覚的に捉えることで、それらが相互に関連し合っていることに気付くことができるようにする。</li> </ul> <p>※ 健康な生活を送るために、望ましい生活習慣を確立することの重要性を理解している。(発言、ワークシート) 【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 板書の理想的な生活習慣と自分の生活習慣と比較させ、改善点や努力点を考えることができるようにする。</li> </ul> <p>④ 課題別にグループを編成し、課題解決の方法を話し合い、「元気アップ計画」として自己決定することができるようにする。</p> <p>※ 自己の課題に気付き、解決の方法について考えている。(観察) 【思考・判断・表現】</p>
まとめる・いかす	10	<p>7 自己決定したことを発表し、実践の意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんな目標をもってがんばろうとしているな。ぼくもがんばるぞ。</li> <li>・ おうちの人も頑張っているところを見せたいな。</li> </ul>	<p>⑤ 各グループの「元気アップ計画」を発表したり、ワークシートに保護者の見届け欄を設けていることを紹介したりすることで、自己決定したことを生活へつなげようという意欲を高めることができるようにする。</p>